

県北管内感染症ニュースレター

令和7年度 第10号

年末年始の大型連休が終わり、新年の学校や仕事等が始まりました！

いまいちど、

呼吸器感染症の予防について確認しましょう！

冬季は気温が下がり換気が不十分になりやすく、空気が乾燥し喉などの粘膜が弱くなりやすいことから、呼吸器感染症に感染しやすい季節です。

今後、学校や職場等で呼吸器感染症が流行しないよう、予防について再確認しましょう。

呼吸器感染症とは？

感染症の原因となるウイルスや細菌などの病原体が、肺や気管支などの呼吸器に入り炎症を起こす病気のことを言います。

<いろいろな呼吸器感染症>

再確認

令和7年度第6号で掲載

ウイルス

◆新型コロナウイルス感染症

特徴 世界的なパンデミックを起こした

潜伏期間：2～7日

近年、年始に増加する傾向

◆インフルエンザ

特徴 季節性インフルエンザがあり、毎年流行

潜伏期間：1～3日

冬季の流行が多い

◆RSウイルス感染症

特徴 子どもに多い

潜伏期間：2～8日

細菌

◆百日咳

特徴 子どもに多い。大人も感染する。

潜伏期間：通常7～10日

◆マイコプラズマ肺炎

特徴 4年に1回流行している

潜伏期間：1～3日

◆結核

特徴 近年、高齢者及び外国出生の若者に多い

潜伏期間：数か月から数十年

基本的な感染対策

次のページで「結核」について詳しく紹介します

●換気

換気の方法は、機械換気(換気システムや換気扇)と自然換気(窓開け)があります。

換気のポイントは、空気に流れをつくることです



●手洗い・手指消毒

手の甲・指先・指の間の洗い残しに注意しましょう！
手を洗ったあとは清潔なタオルで水分を拭き取りましょう。
タオルの共用はしません！

●マスクの着用、咳エチケット

高齢者等の重症化リスクのある方と会う場面や人が多く集まる場面ではマスクを着用しましょう
⇒医療機関受診時、高齢者施設等への訪問時、混雑した電車やバスに乗車する時

また、咳やくしゃみが出るときは、咳エチケットをお願いします！

⇒【咳エチケット】

- ・マスクの着用
- ・ティッシュで鼻と口を覆う
- ・とつさの時は袖や上着の内側を使用
- ・周囲の人からなるべく離れる



結核?
昔の病気でしょ?
けっかく

令和の今も!

いいえ、結核は昔の病気ではありません！

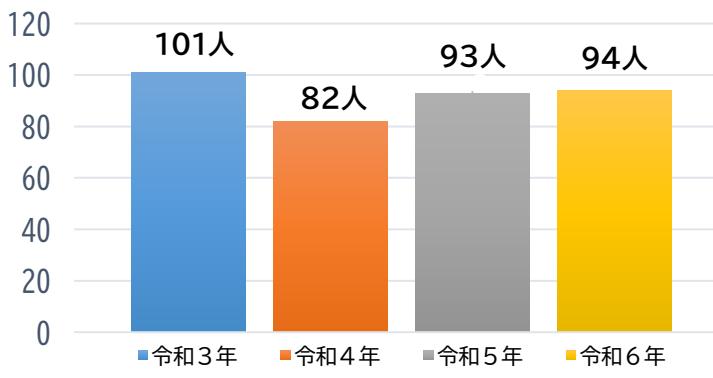
日本では、明治時代から昭和 20 年代頃までの長い間、結核が蔓延し、「国民病」「亡国病」と恐れられました。

予防や治療に取り組んできた結果、現代では患者数が大幅に減り、死亡率が激減しました。

結核は、治療すれば治る病気です。早期発見・早期治療により、仕事や生活への影響を小さくできます。

日本のみならず、世界規模で“結核撲滅”を目指しており、令和の今も、各国々で結核対策に取り組んでいます！

新結核登録者数（福島県）



全国的に見れば、福島県の結核患者登録数は少ないですが、

令和6年の結核患者の登録者数は、
福島県内全体で 93 人でした。

これは、



福島県内で、約4日に1人のペースで

結核と診断される人がいると考えることができます。

近年の傾向

日本国内では、毎年、新たに 10,000 人以上の患者が発生しており、1,400 人以上が命を落としています。

令和6年は、日本全体で 10,051 人が結核患者として登録され、約64%が高齢者でした。

近年、若者の結核患者が増加傾向にあり、特に外国出生の若者の結核患者が増えています。

私たちが普段からできること

★体の「免疫力」を高めておきましょう！

結核菌に感染しても、免疫力があれば生涯発病しないことがあります。または、免疫力があれば重症化を防ぐことができます。

★基本的な感染対策をしましょう！

★早期発見のために、定期的な健康診断を受けましょう！！



結核菌は肺を好みます。日本では、新結核登録患者のうち、約8割が「肺結核」と診断されています。

自覚症状(咳、痰、微熱、だるさ、食欲低下、体重減少など)の程度には個人差があります。

年に1回は、胸のレントゲン(胸部 X 線)検査で肺の健康状態を確認するようにしましょう(職場健診や住民健診など)

お願い

✿「2週間以上続く咳や痰」の症状がある方や、
「高齢者の“最近、なんとなく元気がない”様子を感じた場合は、
医療機関へ相談・受診しましょう！！



発行日：令和8年1月21日 発行元：福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30 電話 024-534-4108